

【水の里の旅コンテスト 2021 応募企画】

【一般部門】 応募者名：エアポートトラベル株式会社

【タイトル】	悠久の魅力 水郷与田浦 神々の里息栖の社へ船でめぐる		
【サブタイトル】	日本三霊泉に数えられ 1000 年湧きつづける最古のカタチの井戸『忍潮井』男瓶、女瓶		
【都道府県名】	千葉県・茨城県	【地域名】	香取市（与田浦）・神栖市（息栖）
【日程】	<input checked="" type="checkbox"/> 日帰り ・ <input type="checkbox"/> 1泊2日 ・ <input type="checkbox"/> 2泊3日 ・ <input type="checkbox"/> その他（ ）		
【実施時期】	<input checked="" type="checkbox"/> 春 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 夏 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 秋 ・ <input type="checkbox"/> 冬 ・ <input type="checkbox"/> 通年 / （実施時期：3月～11月）		
【催行人員】	20名（最小催行人員：5名）	【お勧めする旅行者層】	40代以上の女性グループにおすすめ。・ご夫婦でゆったり旅向け。地域のグループにお勧め。
【旅行代金】	7,800円 (大人1名)	【代金内訳】	船代金 3,300円 昼食代金 2,200円 案内人 1,500円 企画料 800円
【企画趣旨（伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント）】			
<p>※詳細な行程と各観光ポイントは別紙に記載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絶景の無人駅『JR 鹿島線十二橋駅』から眺める『嘗て香取海（かとのうみ）と言われた』水郷の原風景。 ・ 閘門をめぐり水辺に暮らす人々の生活空間を体感『昭和初期、水路が唯一の交通手段であった』。 ・ 当昭和初期迄利用された『息栖神社門前』旧渡船場乗降を再現。 ・ 息栖神社ご神体『日本最古の井戸のカタチ』忍潮井（おしおい）。 ・ 地場産『手ながえびのかき揚げ丼』と地域の食材を利用したご昼食。 			
【インバウンド対応のための工夫】（※任意）			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 成田空港から40分 新たな水辺の観光資源と絶景の無人駅をジョイント。 ・ 古くから伝わる日本の食文化と日本の水辺の『田舎』を船で丸ごと体感。 			
【催行実績】	<p>※当該企画が催行されている場合や、催行されている別企画を元に一部変更したものの場合は有に<input checked="" type="checkbox"/>してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 有 → いつ催行されましたか： ※募集ホームページアドレス（ある場合のみ）：http://airporttravel.jp/</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 無 → 今後の催行予定はありますか：<input checked="" type="checkbox"/> 有 → いつごろ催行予定ですか：2021年11月 <input type="checkbox"/> 無</p>		
【特記事項】	<p>普段味わえない地域を当社ホームページ内『ちか旅』で紹介。嘗て舟運で栄えた渡船場へ『水で栄えたヒストリー』を味わっていただきます。</p>		

【エントリーシート 別紙】

【 行 程 表 】

1 日 目	<p>絶景の無人駅 JR 鹿島線十二橋駅（集合） 10:30 発=与田浦特設 船乗り場 10:40~非日常的空間 水郷の原風景を船で巡る（昭和初期迄は舟が移動手段。今では水路に架橋された橋、閘門は水郷に暮らす人々の生活に重要なもので風景に溶け込んでいる）: 60 分~旧息栖渡船場 11:40 着…日本三霊泉 ご神体 忍潮井（男瓶）（女瓶）…息栖神社（東国三社のひとつ）旧息栖渡船場 12:20 頃発~嘗て香取海と呼ばれた与田浦へ周遊~与田浦船着き場 13:30 頃着…与田浦一望『出島屋』水郷名物てながえびのかき揚げ丼と地場産いちじくアイスのデザート（昼食）: 60 分= JR 鹿島線十二橋駅（解散） 14:50 頃</p>
-------	--

【主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来、土産物など）】

ポイント 1	 <p>『水辺の美しい水郷風景と人々の暮らし』</p> <p>古くは香取海（かとりうみ）と言われ利根川の堆積作用でできた砂州の中に、東西に細長く取り残された与田浦。随一の交通機関であった舟が行き交った水路。ホットする水辺の風景が訪れた人々を癒やしてくれます。</p>
ポイント 2	 <p>『土地の守り神 息栖神社と旧息栖渡船場』</p> <p>息栖神社は、武人の乗り物であった天鳥舟（あめのとりふね）というひかえめな存在の神が祭られ「土地の守り神」として親しみがもてる雰囲気を感じます。また井戸がご神体されているという点からも、より身近に感じることができます。</p>
ポイント 3	 <p>『忍潮井（おしおい） 人類との関わりの中で最も古いかたちの井戸』</p> <p>194 年に造られ、両瓶とも 1000 年以上もの間、清水を湧き出し続けてきたとされています。辺り一面が海水におおわれており、真水（淡水）の水脈を発見し噴出させたところ、辺りの海水を押しつけて真水が湧出したことから、忍潮井の名がつけられました。</p>
ポイント 4	 <p>『地場産 てながえびかき揚げ丼といちじくアイスのデザート』</p> <p>水郷の恵みの中で育まれたてながえびのかき揚げ丼をメインとした地場食材を利用した手作り料理のご昼食。特にシジミ汁は、美味しいです。</p>